

2014年1月28日
愛知製鋼株式会社

2013年度の東海市内全小学校における「鉄の教室」について ～未来を担う子供たちに“鉄学”を……。～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、「会社創立70周年記念事業」の一環として、2010年度から開始した社会貢献活動“出張授業『鉄の教室』”を、本年度も継続して、昨年10月（7校実施済み）と本年2月（5校予定）の2期に分けて、東海市内の全ての小学校（12校37クラス）で実施する。

授業では、当社および当社グループ会社の社員が講師とアシスタントを務め、講義・実験を通じて『知って、見て、体験する』ことで、「鉄」について学んでいただく。

なお、今回開催する「鉄の教室」の一部をメディアの皆さまへの公開授業として実施いたします。取材ご希望の方は、愛知製鋼株式会社 総務部 総務・広報室 原田、加藤(052-603-9216)まで、ご連絡をお願いいたします。

【「鉄の教室」公開授業】

開催学校：東海市立渡内小学校（住所：愛知県東海市荒尾町義呂1-1）

開催日時：2014年2月4日(火) 3,4時限目(10:50~12:25)

「鉄の教室」の詳細は、下記のとおり。

記

1. 名称：出張授業「鉄の教室」
2. 講師：当社社員10~12名がチームとなって、各クラスを担当する
3. 対象：東海市内の全小学校（12校）の5年生
4. 授業時間：クラスごとに約95分 正規授業（総合学習）として2時限分で実施
5. 内容：

(1)鉄に関する授業

- ①東海市と「新日鐵住金(株)名古屋製鉄所」「大同特殊鋼(株)知多工場」、当社がどのような関係であるかを講義する。
- ②私たちの身の回りに使われている「鉄」。鉄がどのように作られているか、どのような性質があるのかを、一般社団法人「日本鉄鋼連盟」発行のテキスト（「ハツラツ鉄学」）を利用して、学んでいただく。

(2)マイ磁石づくり

- ①生徒一人ひとりが「鉄（鉄粉）」から磁石を完成させるまでを体験する。鉄粉に溶剤（エポキシ系樹脂剤と硬化剤）を混ぜ、粘土のようにした後、生徒の好みの抜き型（クッキー型）で形づくり。その後、強力な磁石を用いて“着磁”させることで、「磁石」に変化することを実験する。「マイ磁石づくり」を通して、モノづくりの「ワクワク感」を体験する。

6. 予 定：

	小学校	開催予定日	クラス数	授業時限目			備考
1	名和小学校	2014年2月3日(月)	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	
2	加木屋小学校	2014年2月3日(月)	2	1・2時限目	3・4時限目	—	
3	渡内小学校	2014年2月4日(火)	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	メディア公開日
4	明倫小学校	2014年2月4日(火)	2	1・2時限目	3・4時限目	—	
5	富木島小学校	2014年2月4日(火)	3	1・2時限目	3・4時限目	5・6時限目	

2月4日開催の網掛けの授業日程を、マスコミ関係者様への公開授業として予定いたします。

7. 協力：東海市教育委員会、愛知教育大学技術教育講座（清水秀己教授）、一般社団法人日本鉄鋼連盟、新日鐵住金株式会社名古屋製鉄所、大同特殊鋼株式会社知多工場（順不同）

以上